

病院の実力

～埼玉編 196

脂肪肝に起因増加傾向

肝臓がん

今回の病院の実力は、肝臓がんを取り上げる。一覧表には手術や薬物療法などの治療実績を載せた。

今回の病院の実力は、肝臓がんを取り上げる。一覧表には手術や薬物療法などの治療実績を載せた。

医療機関名	切除手術 (件)	腹腔鏡及びロボット支援下 (件)	焼灼療法 (件)	塞栓療法 (人)	免疫治療薬を使った薬物療法 (人)
埼玉					
埼玉医大国際医療セ	128	103	※0	7	※0
独協医大埼玉医療セ	111	22	6	5	15
熊谷総合	38	14	5	33	9
上尾中央総合	31	23	24	10	10
県立がんセ	28	17	1	18	20
埼玉医大総合医療セ	27	10	22	53	22
自治医大さいたま医療セ	19	6	43	85	14
さいたま赤十字	16	9	31	9	5
防衛医大	11	7	9	29	3
戸田中央総合	9	3	7	15	20
TMGあさか医療セ	8	2	3	5	3
東大宮メディカルセ	7	5	10	9	5
さいたま市立	4	1	8	15	4
済生会川口総合	4	0	7	22	4
川口市立医療セ	4	3	0	8	0
深谷赤十字	3	1	0	16	3
草加市立	3	3	0	6	4
埼玉石心会	2	1	1	6	2
春日部市立医療セ	2	0	0	0	1
さいたま市民医療セ	2	0	0	5	0
埼玉医大	0	0	48	99	34
新座志木中央総合	0	0	0	0	1
春日部中央総合	0	0	0	1	1
秩父	0	0	0	23	0
群馬					
前橋赤十字	18	3	66	104	—
伊勢崎市民	10	1	55	45	—
国・高崎総合医療セ	7	0	36	25	21
県立がんセ	4	1	0	1	0
済生会前橋	3	1	114	4	11
太田記念	1	0	25	38	9
桐生厚生総合	0	0	18	37	10
公立富岡総合	0	0	4	18	5
千葉					
国立がん研究セ東	153	141	59	69	31
千葉大	61	20	116	91	80
順天堂大浦安	36	6	1	17	14
新東京	32	27	2	7	2
君津中央	28	12	24	24	13
国保旭中央	22	9	24	40	15
県がんセ	18	9	0	11	3
成田赤十字	15	1	19	26	17
おおたかの森	13	0	0	5	0
千葉徳洲会	12	9	2	13	4
千葉西総合	10	7	13	37	6
船橋市立医療セ	10	4	12	8	9
亀田総合	9	9	6	20	9
国際医療福祉大成田	8	8	15	12	3
慈恵医大柏	8	5	14	19	5
松戸市立総合医療セ	7	1	20	5	12
聖隷佐倉市民	4	0	5	2	1
東邦大佐倉	3	0	5	5	10
千葉市立海浜	2	1	4	1	0
国際医療福祉大市川	1	0	0	0	0
日本医大千葉北総	0	0	9	35	—
キッコーマン総合	0	0	2	8	5

「国・」は国立病院機構、「セ」はセンター、「—」は無回答または不明。
※は埼玉医大で実施

肝臓がんの治療は、がんの大きさや個数、肝機能の状態に加え、再発の可能性も考慮し、治療法を選択する。外科手術のほか、内科的な治療の選択肢が増えている。

手術は、がんとその周囲を切除する。開腹手術、おなかに数か所の穴を開けて行う腹腔鏡手術に加え、ロボット支援下手術が2022年に公的医療保険の適用となった。

手術と並び、根治が期待できなのが焼灼療法だ。局所麻酔で肝臓に電極針を刺し、ラジオ波などでがんを焼く。体への負担が少なく、肝機能も温存できる。

近年、肝臓がんはウイルス性肝炎よりも、脂肪肝などの生活習慣に起因するものが増加傾向にあり、約半数を占めるとされる。血液検査で肝障害の指標「ALT」の値が30を超えたら、早期の受診を考えたい。

がんが多発し、手術や焼灼療法が難しい場合は、塞栓療法を行う。がん細胞に栄養を運ぶ血管を閉鎖する。

がんが多発し、手術や焼灼療法が難しい場合は、塞栓療法を行い治療効果が根拠を目標することを目指す。

全国の調査結果は18日の「安心設計」面に掲載しました。